

令和7年度（2025年4月～2026年3月）

竜王町小規模事業者景気動向調査

	売上額			所得額			従業員数		
	上昇	横ばい	下降	上昇	横ばい	下降	増加	横ばい	減少
製造業	2	2	1	2	2	1	1	3	1
D I 指数	20.0			20.0			0.0		
	売上・所得ともにDI値20.0とプラス圏を維持。小規模ながらも堅調な景況感で推移している。								
建設業	3	0	2	2	1	2	0	4	1
D I 指数	20.0			0.0			-20.0		
	売上は増加傾向にあるものの、従業員数は減少。人手不足が事業の足かせとなっている現状が伺える。								
卸小売業	1	2	2	4	1	0	0	5	0
D I 指数	-20.0			80.0			0.0		
	売上は苦戦（-20.0）しているが、所得額のDIは80.0と極めて高く、利益率は大幅に改善している。								
飲食業	1	3	1	1	2	2	0	5	0
D I 指数	0.0			-20.0			0.0		
	売上は横ばい、所得額でマイナス。コスト増による利益の圧迫が続いている。								
サービス業	1	3	1	2	0	3	0	5	0
D I 指数	0.0			-20.0			0.0		
	売上は安定している。所得額は減少傾向。飲食・宿泊業と同様に収益性の改善が課題。								
全体	8	10	7	11	6	8	1	22	2
D I 指数	4.0			12.0			-4.0		
	全体では売上・所得ともにDIがプラスとなり、緩やかな回復基調にある。 特に卸小売業の所得改善が顕著。一方で、建設業の人手不足や、 飲食業・サービス業の収益性低下など、業種による課題の差が明確となっている。								

【調査の内容】

- 町内の景気動向等についてより詳細な実態を把握するために、年1回、確定申告書作成支援時、金融支援時及び補助金申請支援時の財務書類およびヒアリングを基に経済動向分析を行った。（2～3月）
- 調査対象→製造業、建設業、卸小売業、飲食・宿泊業、サービス業の各5社・合計25社。
- 調査の結果を示す指標としてD I 指数を採用した。D I 指数とはDiffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、上昇（増加）企業割合から下降（減少）企業割合を差し引いた値を示すものである。（赤は悪化、白はゼロ、青は改善）